

# キャンヘルプタイランド

## ネットワーク通信

2022年8月10日発行 第93号


 カレンダー

～ 2022年2月—2022年8月の活動報告～

日付	内 容	プログラム
2月10日(木)	ぼらマッチ協働会議	運 営
2月14日(月)	ムラのミライ研修 コーチング	運 営
2月15日(火)	名古屋 NGO センター理事会	運 営
2月19日(土)	理事会	運 営
3月4日(金)	運営スタッフ有志 Zoom 会議	運 営
3月10日(木)	ムラのミライ研修	運 営
3月12日(土)	多文化共生セミナーZoom 参加	運 営
3月18日(金)	運営スタッフ有志 Zoom 会議	運 営
4月3日(日)	総会	運 営
4月5日(火)	名古屋千種ロータリークラブ卓話	運 営
4月14日(木)	海ツアー出発(25日まで)	運 営
4月19日(火)	ぼらマッチ協働会議	運 営
5月11日(水)	プロボノ説明会	運 営
5月14日(土)	運営スタッフ有志 Zoom 会議	運 営
5月21日(土)	名古屋 NGO センター総会	運 営
5月27日(金)	プロボノ助成 Zoom 面談	運 営
5月28日(土)	運営委員会	運 営
6月16日(木)	ぼらマッチ協働会議	運 営
6月20日(月)	組織基盤強化研修	運 営
6月23日(木)	ムラのミライ東京研修	運 営
6月25日(土)	運営委員会	運 営
6月27日(月)	カンボジア奨学金授与式とタイ「カサロンの家」ツアー(7/10まで)	奨学金・給食
7月15日(金)	名城大付属高等学校課題探究発表会 ムラのミライ研修Q&A	山岳支援
7月21日(木)	ムラのミライ研修 Q&A	運 営
7月23日(土)	理事会	運 営
7月28日(火)	名古屋NGOセンター理事会	運 営
8月2日(火)	名古屋千種ロータリークラブ例会参加(大学生同席)	運 営
8月3日(水)	ムラのミライ研修 最終発表会	運 営
8月4日(木)	ムラのミライ研修 最終発表会	運 営
8月18日(木)	「カサロンの家」中古PC支援出発 9月1日まで	山岳支援

## ●今後の予定

日付	内 容	プログラム
8月18日(木)	タイ「カサロンの家」中古PC支援	山 岳
8月19日(金)	ぼらマッチ協働会議	運 営
9月20日(火)	名古屋NGOセンター理事会	運 営
9月～10月	奨学金資料翻訳会	奨学金
9月24日(土)	運営委員会	運 営
10月7日(金)	ぼらマッチ名古屋2022 参加説明会 名古屋千種ロータリークラブ創立40周年記念式典参加	運 営
10月22日(土)	理事会兼運営委員会	運 営
11月22日(火)	名古屋NGOセンター理事会	運 営
11月26日(土)	運営委員会	運 営
12月3日(土)	ぼらマッチ名古屋2022 出展	運 営
12月初旬	奨学生クリスマスカード発送	奨学金
12月24日(土)	運営委員会・	運 営

8月に入っても相変わらず、新型コロナ感染症の猛威は続いています。キャンヘルプタイランドも4月から少しずつ活動し始めました。4月には2年ぶりのタイ渡航を決行し、6月にはカンボジア奨学金授与式を開催しました。また、2年間の長期に渡ったNPOムラのミライの「NGOによる住民主体型プロジェクト形成・実施のための方法論と技能」研修もようやく終了し、今後のキャンヘルプタイランドの活動に生かしていける様々な技術を学びました。今後のキャンヘルプタイランドの活動にどうぞご期待下さい。



初めて海を見る子ども達（4月の海ツアーにて）

## 報告1

### ～NGOによる住民主体型プロジェクト形成・実施のための方法論と技能～

2022年8月4日(木)、最終報告会の開催でNPOムラのミライの2年に渡る長期の研修が終了しました。事実質問を使用し「気づき」を対象となる住民に与えることで、「その住民が自ら主体性のあるプロジェクトを実施することにより持続可能になる。」という事を学び、すべての研修が目からうろこでした。最終報告会では、参加するどの団体もコロナ禍で海外渡航ができず、いろいろと苦戦していましたが、Zoomなどのオンラインを駆使し各団体の対象地域を調査することで報告をまとめていました。キャンヘルプタイランドも、現地へ行くことができなかったため、この研修をスタッフに対する主体性の向上に役立てようと努力しました。この研修の成果を今後の活動に生かせたらと思います。

## 報告2

## ～ カンボジア奨学金授与式 ～

6月28日(火)、カンボジア王国バタンバン州サンパオルン郡にて奨学金授与式を開催しました。小学1年生から3年生各10名の計30名の児童とその親、サンパオルン郡の郡長、教育委員長、ボランティア参加のIさん、スタッフの私が、サンパオルン郡のホールに集まり、一人ずつ奨学金を手渡しする方法で授与しました。2020年・2021年は送金での対応だったので、3年ぶりの授与式となります。2019年からスタートしたこの事業は、すぐにコロナ禍に入ってしまったので心配されましたが、今後の立て直しが期待されます。2019年に小学1年生だった児童は、今年で4年生になったので、奨学金の対象からは外れてしまいましたが、カンボジアの公的な奨学金制度が4年生からスタートするので、それまでのつなぎ的な意味合いの強い奨学金制度です。今回の授与式にも、小学4年生になったばかりの元奨学生の女の子が遊びに来てくれて、片言の英語でIさんに話しかけていました。今後も、追跡調査をしていきたいと思えます。



## 報告3

## ～ 名城大学附属高等学校学生グループ課題探究のお手伝い ～

2022年7月3日(日)午後1時(日本時間午後3時)、日本とタイの学生によるオンライン交流がスタートしました。最初は、お互いに緊張の面持ちでしたが、両者がホームの環境で、どちらもアウェーではないという事が功を奏し、交流は徐々に盛り上がってきました。気づくと予定終了時間を1時間もオーバーしていました。結果、1回目としては大成功だったと言えます。



2020年の年末、名古屋NGOセンター主催の「国際協力カレッジ」というNGOとボランティアを繋ぐイベントがオンラインで開催されました。そこで、キャンヘルプタイランドのプレイクアウトルームに名城大学附属高校の課題探究の1つのグループの学生が2名で来てくれました。彼女たちは、手作りの生理用品を途上国に広める活動をしていて、アフリカのケニアにはすでにネットワークが構築でき、実際に品物を現地へ送ったりしているとの事でした。東南アジアへも活動を広めたいという事で当会にも関心を持ってくれたそうです。活動内容もさることながら、高校生が積極的にこういうイベントに参加するという事に興味を持ち、会で何かお手伝いできることがないかと思い、協力することに決めました。ですが、2021年は海外渡航ができず、タイでの活動もストップしていたので、結果的に何もできずに過ぎてしまい、高校3年生だった彼女たちも卒業となり、無念な思いをしたことと思えます。

しかし、2021年の12月にも「国際協力カレッジ2021」が開催され、今度は、この活動を引き継いだ2年生が、オンライン上ですがキャンヘルプタイランドの部屋へあいさつに来てくれました。そこで“2022年こそは！”と決心を固め、まずは4月の海ツアーの渡航時にオンライン交流の下準備として、タイの学生たちからのビデオレターを撮影し、それを名城大付属の高校生へ送りました。そのことが効果的に機能し、彼女らを本気にさせました。メールでのやり取りも活発化し、高校の担当教員の方々も巻き込みながら、徐々に大きな車輪の様に動き出します。一度動き出したら、もう誰にも止められません。6月のカンボジア奨学金授与式の後にタイのチェンマイにある「カサロンの家」へも行くことにして、そこで「第1回オンライン交流」を開催することにしました。目先の目標が決まると、後はそれに向けて準備をしていくだけです。まず、7月3日（日）の午後1時からという日時を決め、それに向けて必要な準備を日本の高校生と進めていきます。タイ側にも連絡を入れ、この時間の高校生をブッキングしておきました。ちょうど日曜日なので、現地ではお昼までミサが行われます。昼食の後にその部屋を使ってそのままオンライン交流会に突入するという段取りです。部屋にWi-Fiがあることは確認できているので、Zoomに耐えうるコンピューターとカメラ・マイクなどを日本から持ち込みます。

カンボジアでの奨学金授与式を6月28日に開催し、29日にタイへ戻り、国境周辺の過去の支援校を数校視察した後30日の夕方にバンコクへ戻り、7月1日の夜行寝台列車を使ってチェンマイへ向かいます。7月2日（土）の朝、チェンマイに到着し、そのまま「カサロンの家」へ向かいました。2ヶ月ぶりに会う子ども達もとても元気そうで、5月から2年ぶりの登校となった学校生活にもようやく慣れてきた様子でした。「明日は日本とオンライン交流だよ。」と高校生に伝えると、キョトンとしていました。スタッフには連絡をしておきましたが、学生には明日の予定がちゃんと伝わっていなかったようです。7月3日（日）、交流会当日の朝、現地のスタッフと簡単な打ち合わせを済ませ、ミサの後にオンラインのセッティングをさっと済ませました。12時45分に現地の高校生が部屋に集まり、緊張した面持ちで並んで座っています。50分に接続テストを行い、準備完了です。

午後1時（日本時間午後3時）丁度に、日本の高校生の挨拶から交流会がスタートしました。昨年高校3年生で今は大学生になってしまった日本の学生も加わり、日本側とタイ側で順番に自己紹介をして、その後、日本の高校生が自分たちの高校生活をスライドショーで説明します。タイの学生は日本の高校生が電車を使って通学していることにとっても驚いていました。バンコクの高校生は日本と同じだと思いますが、タイの田舎の高校生はスクールバスかバイク通学です。逆に日本の高校生がタイでのバイク通学に驚くかと思いましたが、男子学生もあまりバイクに興味がない様子でした。僕が高校生の時は、バイクの免許が欲しくて仕方なく、学校に内緒で原付の免許を取ったりしたのですが、時代は変わるものですね。

本題に入ります。特に女子高生向けの話題ですが、男子高校生も知っておいた方が良い話なので、そのまま参加してもらいます。名城大付属の高校生グループは、手作りの生理用品の普及を推進していて、タイの女子学生にもそれを広めることを目的としています。マイ箸やマイボトルの様に、使い捨てではない持続可能な社会を実現するための取り組みで、名古屋の高校周辺で活動に協力してくれる方々が作ったものをタイにも持ち込んでいたので、このタイミングでタイの女子高生に渡します。タイの女子学生は興味深々で、使用方法や使用後の事などを積極的に質問していました。この辺りから雰囲気ガラッと変わり、日本とタイとの会話がとても活発になってきました。14時の終了予定時刻を1時間もオーバーして15時なろうとしていたので、さすがに、日本の担当教員の方々も、「そろそろ締めましょうか。」と学生に忠告し、半ば強制ではありましたが何とか第1回のオンライン交流会を終了できました。

何事も継続することに意味があると思うので、第2回オンライン交流会は8月下旬に行うことになりました。日本側は、3年生だけでなく新たに2年生も加わるそうなので、とても楽しみです。この関係性が継続していくことを願っています。

## 報告4

### ～ 「カサロンの家」中古PC支援 ～

名城大付属高校の学生とタイの学生のオンライン交流会を開催するにあたり、Zoomに耐えうるだけの性能のあるノー型PCが必要でした。そこで、以前からお世話になっている中古リサイクルPCを非営利団体へ提供しているNPOイーパーツに問い合わせたところ、丁度よいスペックの中古PCを1台あたり6,000円で譲っていただけることになりました。認定NPO法人イーパーツは、企業や官公庁などでリースをしていたPCを契約期限の切れたものから回収し、データの消去や本体の清掃などの作業を障がい者施設で行い、それを必要としている非営利の団体へ格安で提供するという事業を2002年から行っています。キャンヘルプタイランドもすでに何度もお世話になっているので、試しに10台程度を用意可能かどうか聞いてみたところ、大丈夫だとの返事を頂いたので、すぐに予算組みに入りました。中古ノートPCを10台で60,000円、無線LANなどの小物類、渡航費など、ざっと計算すると20万円は必要です。すぐに事業計画と予算書を作り、名古屋千種ロータリークラブ様に提案させていただきました。すると、すぐに支援する旨の回答がメールで届き、事業スタートです。

ノートPCは確保できましたが、問題はどのようにして現地へ運搬するかです。ですが、秘策がありました。夏に大学生向けの「カサロンの家」スタディーツアーを開催予定だったので、その学生たちに中古PCを一人1台ずつ運んでもらうことにしたのです。すでに6月のタイ渡航で2台運んでいるので、残りは8台です。今回は僕も現地へ行くので、1～2台は運べます。残りのPCはツアーに参加する学生に無事に振り分けることができました。

毎週火曜日にホテルで例会を開催している名古屋千種ロータリークラブから、PC支援の目録の贈呈式のために8月2日(火)の例会に出席するように言われました。そこで、今回のスタディーツアーの学生代表の遠藤さんにも声をかけ、同席してもらうことにしました。普段は、経営者の集まりであり花のない雰囲気の良い例会ですが、今回に限っては、女子大生が参加することで、心なしか明るい感じがしました。(個人的な見解です。)

今回のスタディーツアーは、8月19日出発となります。



名古屋千種ロータリークラブFBより

## 報告5

### ～ NGOスタディ・プログラム不採択 ～

NGO向けに研修の費用などを支援する外務省のプログラムがあります。名古屋NGOセンターから情報を頂いたので、試しに応募してみると、条件付きの採択となりました。その条件とは、研修計画の練り直しで、もう少し具体的に、期待する研修の成果とそれをどのように還元するかをまとめる必要がありました。7月30日の期限まで試行錯誤したのですが、残念ながら不採択となりました。

お知らせ

～ご寄付のお願い～

各プログラムへのご寄付を広く募集します。ご協力くださる方は、同封の振込用紙もしくは郵便局に備え付けの振込用紙を使用いただき、必要事項及びご寄付を希望のプログラム名（寄付金の使途）を記入してお振込み下さい。尚、寄付金の使途をご指定にならない場合は、こちらで振り分けさせていただきますのであらかじめご了承ください。

奨学金プログラム(タイ・カンボジア)	1 □	10,000 円
ランチプログラム	1 □	5,000 円
建設プログラム	1 □	5,000 円
図書支援プログラム	1 □	1,000 円
山岳民族支援プログラム	1 □	10,000 円
カンボジア支援プログラム	1 □	5,000 円
運 営 基 金	1 □	1,000 円
会 費 ※	1 年	3,000 円

※ 会員制度とは…

会員になっていただいた方には、年2回「ネットワーク通信」をお送りし、キャンヘルプタイランドの活動やイベント情報、タイにまつわるいろいろな情報をお伝えしていきます。年1回、会費 3,000 円をお振込みください。

寄付金・会費のお振込みは…

＜郵便振替口座＞

口座名：NPO キャンヘルプタイランド  
番 号：00280-2-43793

運営委員会

(2022 年4月～8月)

活動	月日	場所	内容
運営委員会	5月28日	事務局	海ツアー報告
運営委員会	6月25日	事務所	奨学金について
理事会・運営委員会	7月23日	事務所	カンボジア奨学金授与式報告

運営委員募集中！

通常は毎月第4土曜日に事務所に集まり、会の運営について話し合っています。見学でも結構ですので是非事務所へ遊びに来てください。

次回の運営委員会は **開催日未定のため参加希望の方は事務局までメールでお問い合わせください。**

編集後記

ここ1・2年、助成金の情報が頻りに集まってくるようになりました。コロナ禍で活動を停止している団体も多いでしょうから、助成金の予算を取ったのに消化できない官庁の叫びの様なものです。特に外務省などは、青年海外協力隊事業がすべて停止に追い込まれ、今度は、日本国内に暮らす外国籍の人達の支援を始めるとの事です。

この機会をチャンスととらえ、数々の助成金に応募していますが、残念ながらなかなか採択されません。団体の広報活動をもっともっと強化する必要がありますね。

＜キャンヘルプタイランドネットワーク通信 Vol.93＞

発行 NPOキャンヘルプタイランド  
 発行人 西川 弘達  
 編集人 坂 茂樹  
 発行日 2022年8月10日  
 住 所 〒450-0001  
 名古屋市中村区那古野1-44-17 203  
 Tel 050-3578-5131 (来所は要予約)  
 E-mail: office@canhelp.jp  
 URL: http://canhelp.jp